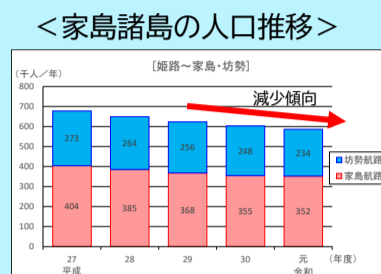
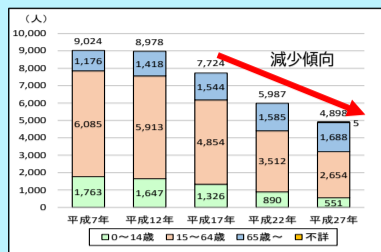


旅客船＋バス＝企画切符 ➡ 新たな集客

「家島諸島航路の確保・維持に向けた乗船券とバス乗車券をセットにした「企画切符」の取組み」

1. 背景と目的

- 家島諸島航路は、島民の少子高齢化・人口減少により利用者が減少
- 航路の確保・維持には、人口定着と交流人口の拡大が必要
- 交流人口拡大のためには、新たな観光客等の確保が必要
- 神戸運輸監理部の『家島諸島航路における交流人口拡大及び航路利便性向上による航路確保・維持に関する調査業務』において、観光客等の利便性向上をめざし、乗船券とバス乗車券をセットにした「企画切符」の社会実験を実施し、今後の商品化に向けた対応策を検討



神姫バス (姫路駅～姫路港)
 高速いえしま (姫路港～家島)
 高福ライナー (姫路港～家島)
 坊勢輝汽船 (姫路港～坊勢島)

<家島諸島航路の利用者数推移>

<家島諸島の位置とアクセス交通>

2. 企画切符の概要

- 国、地元自治体、交通事業者の連携により、姫路港～家島航路及び姫路港～坊勢航路の乗船券と姫路駅北口～姫路港を運行する路線バス(神姫バス94系統)の乗車券をセットにした企画切符「しま遊びきっぷ」を作成
 - 初年度の制作・PR にかかる費用は、姫路市による地域公共交通の利用促進・需要創出支援にかかる補助金を活用
- 令和2年10月16日～12月31日で販売



■実現にあたって苦労した点

- ✓ 旅客船事業者とバス事業者の企画乗車券の製作が初めて
- ✓ 交通事業者間精算(バス+旅客船、旅客船事業者同士)の問題

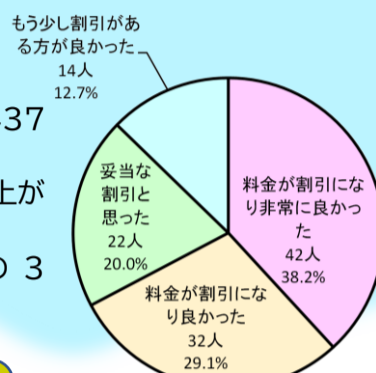
3. 企画切符の評価

- 発売枚数は、販売期間 76 日(約 2 か月半)で、437 枚(一日あたり平均 5.8 枚)を販売
- 利用者の 7 割が料金割引を良いと捉え、9 割以上が使いやすいと評価
- 交通事業者の評価も高く、地域、利用者、事業者の 3 者が便益を得た取組
- 島内の食事や観光に関する案内不足の意見もあり

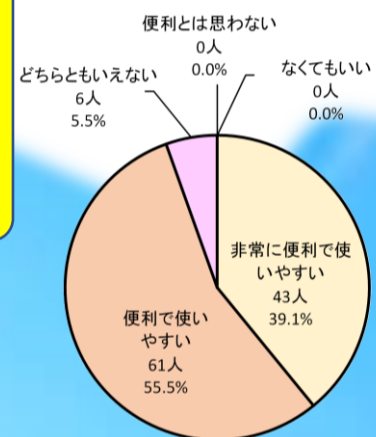
■企画切符による交流人口の創出効果

- ✓ 社会実験期間中、約 300 人の新規需要を創出
- ✓ 年間で約 1,500 人(航路利用者数は約 3,000 人)と推計

(発売枚数) (初めて～2 回目の訪問の割合) (新たな交流人口需要)
 437 枚 × 63% ~ 74% = 275 人~325 人



<企画切符の割引>



<企画切符の使いやすさ>

■今後の展開

- 企画切符の電子化や島内での割引・サービスの提供など更なる利便性の向上をめざす。
- これにより、公共交通への交通行動の変容を促していきたい。

■令和3年度も「企画切符」を実施
8/16～12/26 で販売中!
 通常料金 2,560 円を 2,000 円、さらにお店などでの割引・サービス付き

